

## 2019年（平成31年・令和元年）の近畿地方の天候

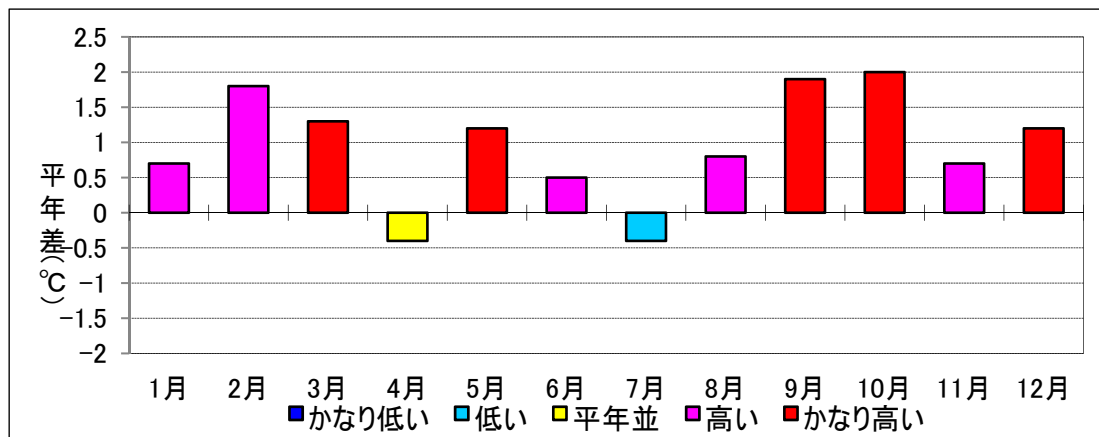
### 1. 2019年の天候の特徴

#### 《気温》

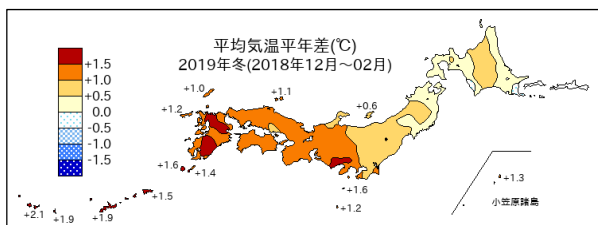
気温の高い状態が続き、2019年は**“顕著な高温”**。

近畿地方\*の月平均気温平年差（第1図）によると、暖かい空気に覆われやすかった影響で、平年を上回った月が多くなり、年平均気温は平年差+1.0℃とかなり高く、1946年の統計開始以来、高い方から第2位となりました。冬（2018年12月～2019年2月）は、冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の影響を受けにくかったため、冬の平均気温は平年差+1.2℃とかなり高く（第2図）、2年ぶりの暖冬となりました。その後も概ね気温の高い状態が続き、特に、秋（9月～11月）は、暖かい空気に覆われやすかったため、9月と10月を中心に高くなり、秋の平均気温は平年差+1.5℃とかなり高く（第3図）、1946年の統計開始以来、高い方から第1位となりました。

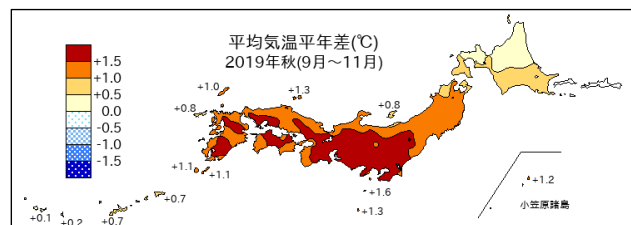
なお、夏（6月～8月）の平均気温は平年差+0.3℃と平年並でしたが、気温のかなり高くなった時期や低くなった時期があるなど、気温の変動が大きくなりました。



第1図：近畿地方の月平均気温平年差<2019年>



第2図：平均気温平年差  
<2019年冬（2018年12月～2019年2月）>



第3図：平均気温平年差  
<2019年 秋（9月～11月）>

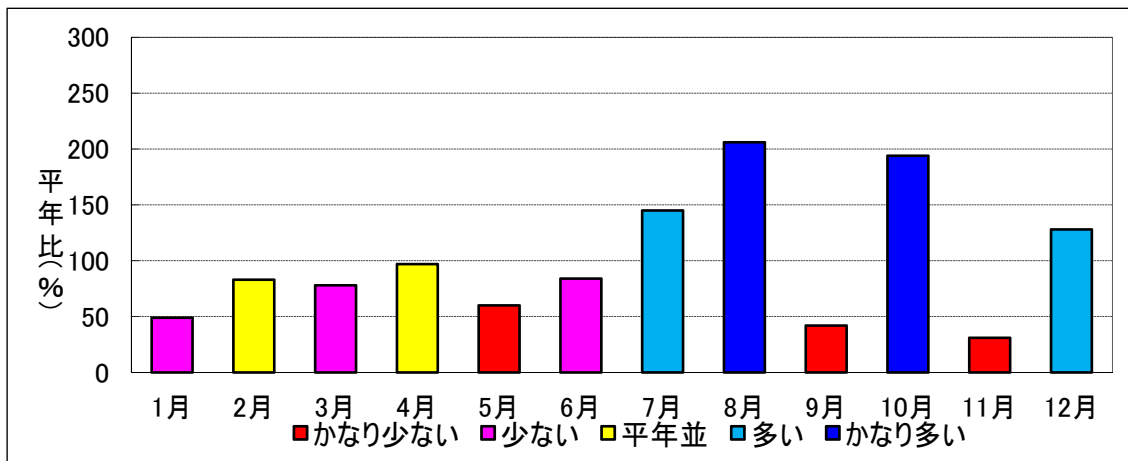
※ 近畿地方の地域平均は、気象官署等の以下11地点の観測値から求めています。  
「豊岡、舞鶴、彦根、京都、神戸、姫路、洲本、大阪、奈良、和歌山、潮岬」

## 《降水量》

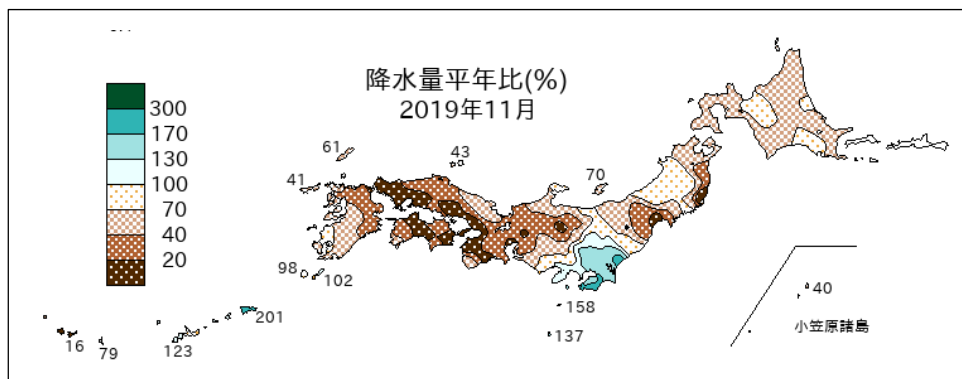
平年を下回った月が多くなった一方で、8月と10月は“かなりの多雨”。

近畿地方の月降水量平年比（第4図）によると、平年を下回った月が多くなりました。特に、11月は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった影響で、月降水量は平年比31%と平年に比べかなり少なく（第5図）、1946年の統計開始以来、少ない方から第3位となりました。一方、8月は、中旬から下旬にかけて、台風第10号や秋雨前線の影響で大雨となったため、月降水量は平年比206%とかなり多くなりました（第6図）。また、10月は、中旬から下旬にかけて、台風第19号や前線、湿った空気の影響で大雨となったため、月降水量は平年比194%とかなり多くなりました。

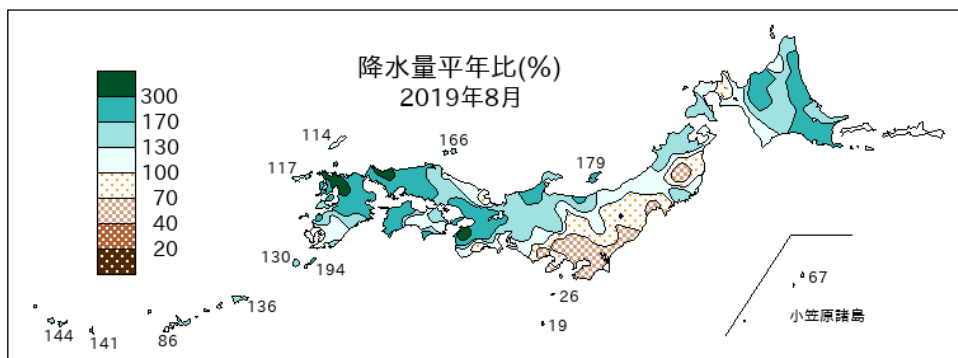
なお、2019年の年降水量は、平年比99%で平年並となりました。



第4図：近畿地方の月降水量平年比＜2019年＞



第5図：降水量平年比＜2019年11月＞



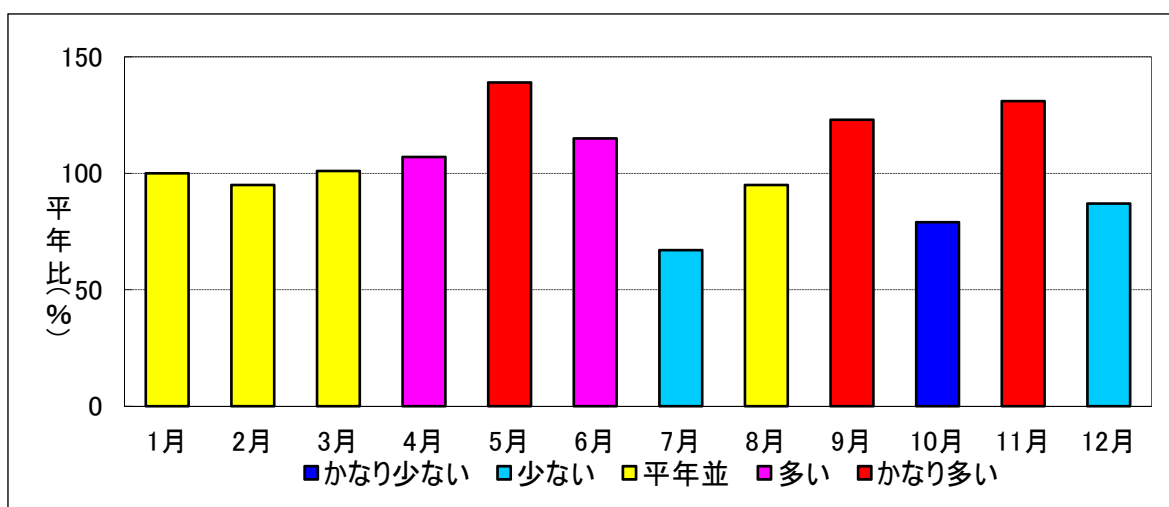
第6図：降水量平年比＜2019年8月＞

## 《日照時間》

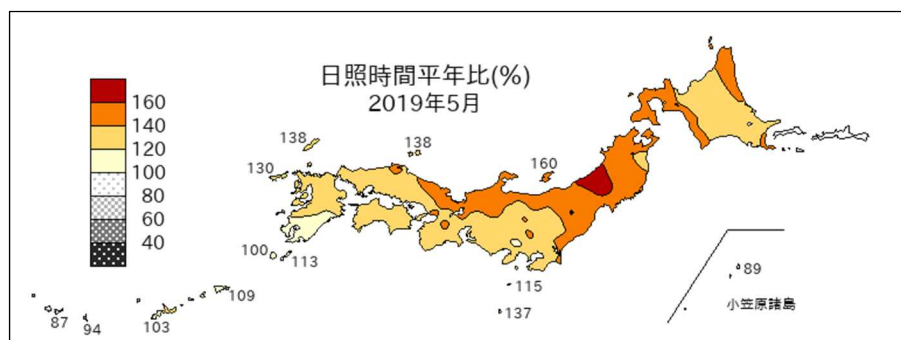
5月と11月は**“記録的な多照”**。一方、10月は**“かなりの寡照”**。

近畿地方の月間日照時間平年比（第7図）によると、6月にかけては平年を上回った月が多く、特に、5月は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間は平年比139%と平年に比べかなり多く（第8図）、1946年の統計開始以来、多い方から第1位となりました。その後は、平年を下回った月が多くなり、特に、10月は、中旬から下旬にかけて台風や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなったため、月間日照時間は、平年比79%とかなり少なくなりました（第9図）。一方、9月と11月は高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、秋（9月～11月）の日照時間は平年比110%とかなり多く、1946年の統計開始以来、多い方から第2位となりました。特に、11月は日照時間の平年比131%でかなり多くなり、1946年の統計開始以来、多い方から第1位となりました。

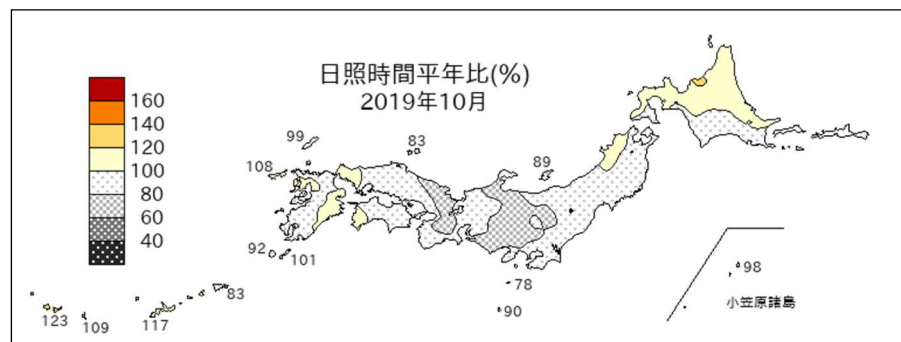
なお、2019年の年間日照時間は、平年比103%と多くなりました。



第7図：近畿地方の月間日照時間平年比<2019年>



第8図：日照時間平年比<2019年5月>



第9図：日照時間平年比<2019年10月>

## 《降雪量》

冬（2018年12月～2019年2月）と2月、12月は、“**記録的な少雪**”。

近畿日本海側では、冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の影響を受けにくかったため、冬（2018年12月～2019年2月）の降雪量は平年比11%と平年に比べかなり少なく、また2月は平年比2%、12月は平年比0%とかなり少なくなりました。1962年冬（1961年12月～1962年2月）の統計開始以来、いずれも少ない方から第1位となりました。

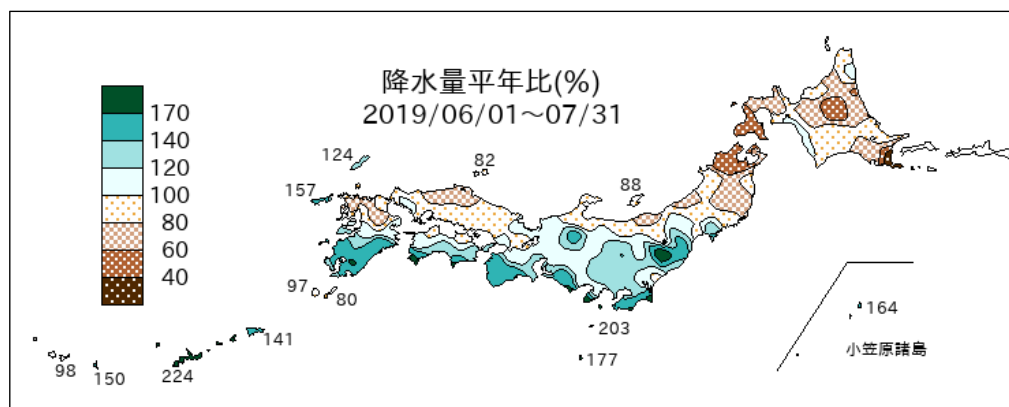
## 《近畿地方の梅雨》

梅雨入りは6月27日ごろで、“**最も遅くなった**”。

6月は、天気は数日の周期で変わり、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、下旬の後半には、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。このため、近畿地方では、6月27日ごろに梅雨入りしました。これは、平年<sup>※1</sup>よりかなり遅く、1951年の統計開始以来、最も遅くなりました。

7月は、中旬にかけては梅雨前線が本州南岸に停滞しやすかったため曇りや雨の日が多くなりました。下旬は、期間のはじめは、梅雨前線が本州付近に停滞しやすく曇りや雨となりました。その後は、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、湿った空気の影響で、大雨となった所がありました。このため、近畿地方では平年<sup>※1</sup>より遅い7月24日ごろに梅雨明けしました。

梅雨の時期の降水量（6月～7月）<sup>※2</sup>は、平年比112%で多くなりました（第10図）。



※1 梅雨入りの平年は「6月7日ごろ」、梅雨明けの平年は「7月21日ごろ」となります。

※2 梅雨の時期の降水量は、例年梅雨の期間に該当する6月～7月の観測値を用いています。

## 《接近及び上陸した台風》

近畿地方に接近した台風は、第3号、第6号、第10号、第15号、第17号、第19号、第20号の7個（平年は3.2個）で、近畿地方に上陸した台風はありませんでした。

## 2. 各気象要素の統計値（2019年）

《近畿地方の各気象要素の統計値》

第1表：近畿地方の地域平均平年差（比）と階級<2019年>

	平均気温		降水量		日照時間		日本海側の降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
1月	+0.7	+	49	-	100	0	9	--
2月	+1.8	+	83	0	95	0	2	--
3月	+1.3	++	78	-	101	0	0	--
4月	-0.4	0	97	0	107	+		
5月	+1.2	++	60	--	139	++		
6月	+0.5	+	84	-	115	+		
7月	-0.4	-	145	+	67	-		
8月	+0.8	+	206	++	95	0		
9月	+1.9	++	42	--	123	++		
10月	+2.0	++	194	++	79	--		
11月	+0.7	+	31	--	131	++	0	0
12月	+1.2	++	128	+	87	-	0	--
年	+1.0	++	99	0	103	+	10※	--

階級：-- かなり低い(少ない)、- 低い(少ない)、0 平年並、+ 高い(多い)、++ かなり高い(多い)

※ 値は寒候年（前年の8月1日から当年の7月31日までの期間）の統計

《近畿地方の代表的な地点における各気象要素の統計値》

第2表：年平均気温と順位（10位まで記載）＜2019年＞

	年平均気温					
	実況値(°C)	平年値(°C)	平年差(°C)	階級※	順位(高い方から)	統計開始年
豊岡	15.4	14.3	+1.1	++	1	1918
舞鶴	15.4	14.5	+0.9	++	4	1947
彦根	15.8	14.7	+1.1	++	1	1893
京都	16.9	15.9	+1.0	++	3	1880
神戸	17.7	16.7	+1.0	++	3	1896
姫路	16.2	15.2	+1.0	++	3	1948
洲本	16.6	15.5	+1.1	++	2	1919
大阪	17.6	16.9	+0.7	+	5	1883
奈良	16.3	14.9	+1.4	++	1	1953
和歌山	17.4	16.7	+0.7	++	4	1879
潮岬	17.9	17.3	+0.6	++	4	1913
近畿地方	-	-	+1.0	++	2	1946

第3表：年降水量と順位（10位まで記載）＜2019年＞

	年降水量					
	実況値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	階級※	順位(少ない方から)	統計開始年
豊岡	1621.0	2027.1	80	--	3	1918
舞鶴	1530.0	1826.6	84	--	5	1947
彦根	1398.5	1570.9	89	-	-	1893
京都	1407.5	1491.3	94	0	-	1880
神戸	1177.5	1216.2	97	0	-	1896
姫路	1084.0	1199.0	90	-	-	1948
洲本	1385.0	1406.6	98	0	-	1919
大阪	1219.0	1279.0	95	0	-	1883
奈良	1482.5	1316.0	113	+	-	1953
和歌山	1625.5	1316.9	123	+	-	1879
潮岬	3140.0	2519.0	125	+	-	1913
近畿地方	-	-	99	0	-	1946

第4表：年間日照時間と順位（10位まで記載）＜2019年＞

	年間日照時間					
	実況値(h)	平年値(h)	平年比(%)	階級※	順位(多い方から)	統計開始年
豊岡	1545.8	1489.4	104	+	-	1918
舞鶴	1591.6	1538.8	103	+	-	1947
彦根	1960.7	1825.8	107	++	-	1894
京都	1817.3	1775.1	102	0	-	1890
神戸	2143.6	2072.6	103	+	-	1897
姫路	2062.2	2032.6	101	0	-	1948
洲本	2090.3	2066.8	101	0	-	1919
大阪	2101.2	1996.4	105	+	-	1890
奈良	1886.8	1823.0	103	0	-	1953
和歌山	2177.6	2088.8	104	+	-	1889
潮岬	2251.8	2240.1	101	0	-	1913
近畿地方	-	-	103	+	-	1946

※階級：-- かなり低い(少ない)、- 低い(少ない)、0 平年並、+ 高い(多い)、++ かなり高い(多い)

《近畿地方の梅雨の時期（6月～7月）における代表的な地点の降水量》

第5表：梅雨の時期（6月～7月）の降水量と平年比及び階級<2019年>

	実況値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	階級※
豊岡	297.0	336.8	88	—
舞鶴	387.5	350.4	111	0
彦根	400.0	408.2	98	0
京都	354.0	434.4	81	0
神戸	378.0	333.7	113	+
姫路	305.0	331.6	92	0
洲本	413.0	340.7	121	+
大阪	315.5	341.5	92	0
奈良	445.0	353.8	126	+
和歌山	544.5	333.5	163	++
潮岬	915.5	642.6	142	++
近畿地方	—	—	112	+

※階級：— かなり少ない、- 少ない、0 平年並、+ 多い、++ かなり多い

各月の天候のまとめは、以下 URL の「近畿地方における過去の天候」を参照してください。

URL : <https://www.jma-net.go.jp/osaka/kikou/chihou/chihou.html>